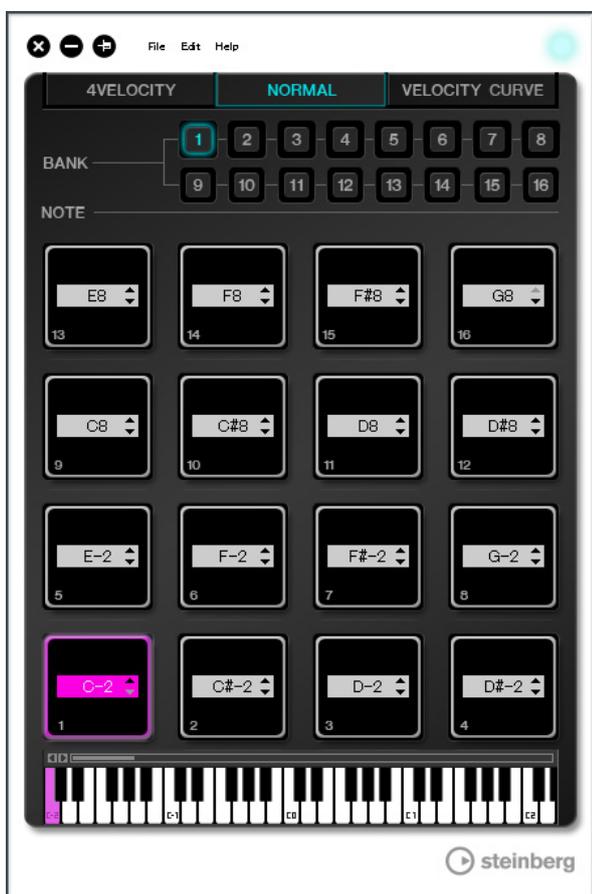


# CMC-PDエディター

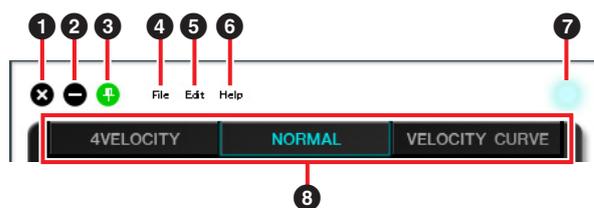
CMC-PDエディターを使って、各パッドのMIDIノートナンバー / ベロシティの割り当てやバンクの編集を、コンピューター画面を使って視覚的に確認しながら行なえます。



## 注記

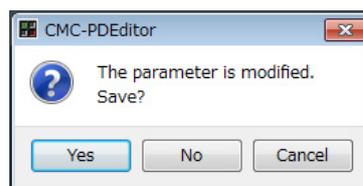
CMC-PDエディターの操作中は、USBケーブルを抜かないでください。データ破損の原因になります。

## 各部の名前と機能



### ① (X) (閉じるボタン)

エディターを終了します。  
設定の変更を保存していない状態でエディターを終了しようとする時、以下のダイアログが表示されます。



[Yes]をクリックすると、名前をつけて保存する画面が表示されます。[No]をクリックすると、設定を保存せずにエディターを終了します。[Cancel]をクリックするとエディターの終了をキャンセルします。

### ② (-) (最小化ボタン)

エディター画面を最小化します。

### ③ (+) (固定ボタン)

エディター画面を常に最前面に表示するかしないかを切り替えます。



最前面に表示するとき



最前面に表示しないとき

### ④ [File] (ファイルメニュー)

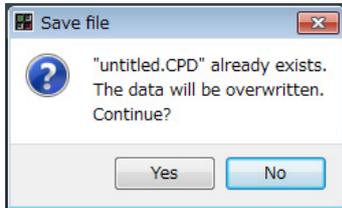
クリックすると、以下のメニューが表示されます。

メニュー	機能
Open	以前保存したファイルを開きます。
Save	ファイルを開いている場合は、現在の設定を上書き保存します。ファイルを開いていない場合は、「Save as」と同じはたらしきをします。
Save as	現在の設定を、新しいファイルとして保存します。

設定を変更した状態で[Open]を実行すると、変更の保存を確認するダイアログが表示されます。[Yes]をクリックすると、名前をつけて保存する画面が表示されます。[No]をクリックすると、設定を保存せずに新しい

ファイルを開きます。[Cancel]をクリックするとファイルを開くのをキャンセルします。

既存ファイルに現在の設定を保存すると、以下のダイアログが表示されます。



[Yes]をクリックすると、現在の設定が既存ファイルに上書き保存されます。

[No]をクリックすると、この操作がキャンセルされます。

## ⑤ [Edit] (エディットメニュー)

クリックすると、以下のメニューが表示されます。

メニュー	機能
Copy	選択しているアイテムのデータをコピーします。コピーできるアイテムとそのデータは次の表をご覧ください。
Paste	コピーしたデータを、選択したアイテムに貼り付けます。貼り付けることができるデータは、同じ種類のものに限ります。
Revert To Initial State	現在の設定を、エディターを起動したときの状態に戻します。
Load Factory Preset	現在の設定を、工場出荷状態に戻します。

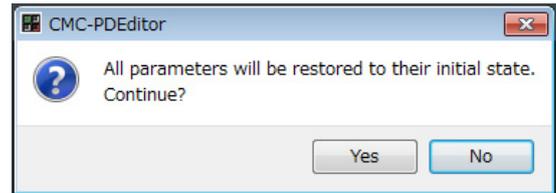
### コピーできるアイテムとそのデータ

アイテム	データ
ノーマルモードのパッド *1	MIDIノートナンバー
4ベロシティーモードの [NOTE] *1	MIDIノートナンバー
4ベロシティーモードのパッド	ベロシティー
ノーマルモードの [BANK] *2	ノーマルモードのバンク
4ベロシティーモードの [BANK] *2	4ベロシティーモードのバンク

\*1 この印のついている2つのアイテム間で、データのコピーとペーストができます。

\*2 バンク内にあるすべてのデータをコピーできます。

[Revert To Initial State]を実行すると、以下のダイアログが表示されます。



[Yes]をクリックすると、現在の設定がエディターを起動したときの状態に戻ります。[No]をクリックすると、この操作がキャンセルされます。

[Load Factory Preset]を実行すると、以下のダイアログが表示されます。



[Yes]をクリックすると、現在の設定が工場出荷状態に戻ります。

[No]をクリックすると、この操作がキャンセルされます。

## ⑥ [Help] (ヘルプメニュー)

クリックすると、以下のメニューが表示されます。

メニュー	機能
Manual	CMC-PDエディターの取扱説明書を開きます。
About	CMC-PDエディターの情報を表示します。

## ⑦ オンラインアイコン

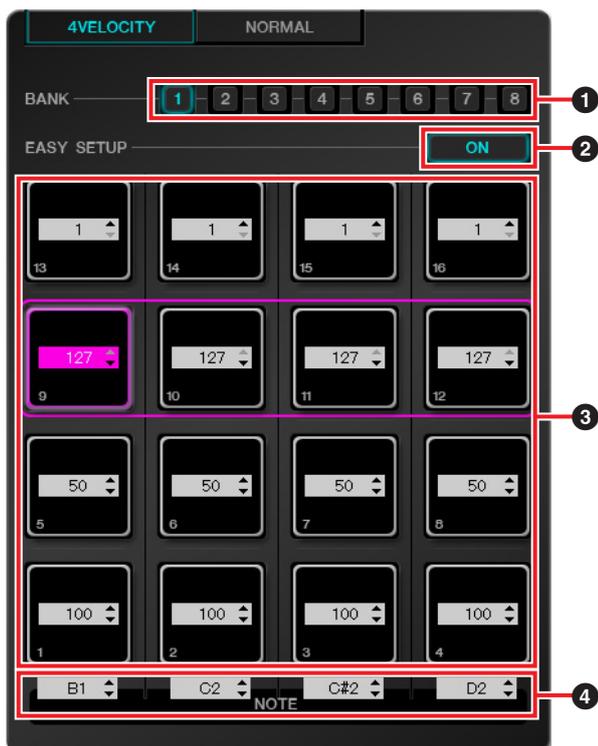
本体との接続状態を表示します。本体と通信可能になると点灯します。

## ⑧ モード切替タブ

編集対象を選択します。[CURVE SETUP]は、[NORMAL]が選択されたときだけ表示されます。各タブの詳細は、後述の説明をご覧ください。

## [4VELOCITY]

4ペロシティーモードの、パッドに割り当てるMIDIノートナンバーとペロシティー値を確認/編集できます。



### ① [BANK] (バンク切替ボタン)

バンク番号をクリックして、操作の対象となるバンクを [1]～[8]から選択します。現在選択されているバンク番号が点灯します。

### ② [EASY SETUP] (イージーセットアップ)

ペロシティー値の割り当て方を切り替えます。

ボタンの状態	機能
ON	横の各行4つのパッドを1つのグループとみなして、グループごとにペロシティーを割り当てます。
OFF	各パッドに個別のペロシティーを割り当てます。

OFFからONに切り替えたときは、各行の値が一番左のパッドのペロシティー値に統一されます。

### NOTE

- イージーセットアップはバンクごとに設定できます。
- イージーセットアップの切り替えは、CMC-PDエディターでのみ行なえます。

### ③ パッド

現在割り当てられているペロシティー値を表示/編集します。編集は以下の手順で行ないます。

#### 1. 以下のいずれかの方法でパッドを選択します。

- エディター画面のパッドをクリックする
- 本体のパッドをたたく

#### 2. 以下のいずれかを使って、ペロシティー値を編集します。

- マウスホイール
- キーボードカーソルキー
- 直接入力
- ▲/▼クリック
- 本体のノブ

設定できるペロシティー値は、1から127までです。このとき、CMC-PD本体の任意のパッドを押したまま、エディター画面で対応するパッドの値を編集すると、設定されたペロシティー値の音をすぐに確認できます。

#### ④ [NOTE] (ノート選択)

パッドの各列に割り当てられているMIDIノートナンバーを表示/編集します。編集は以下の手順で行ないます。

#### 1. エディター画面のエディットボックスをクリックします。

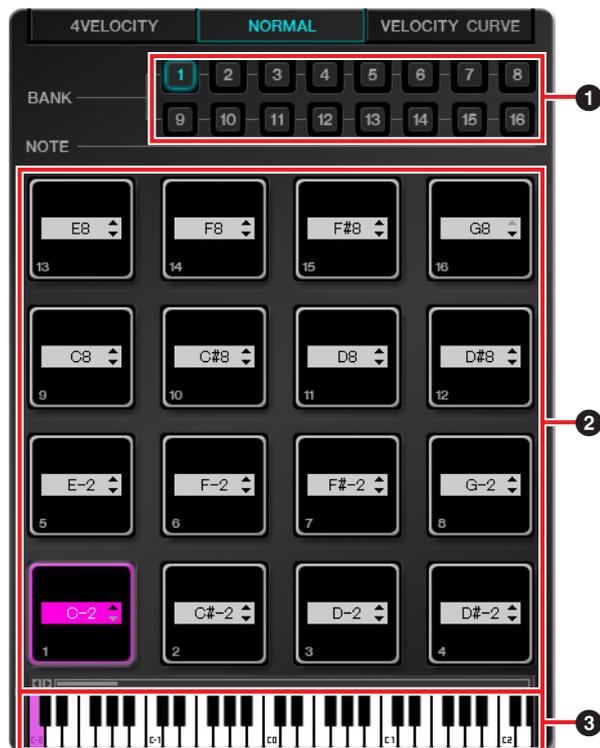
#### 2. 以下のいずれかを使って、ペロシティー値を編集します。

- マウスホイール
- キーボードカーソルキー
- 直接入力
- ▲/▼クリック

設定できるMIDIノートナンバーは、C-2からG8までです。

## [NORMAL]

ノーマルモードの各パッドに割り当てられているMIDIノートナンバーを確認できます。バンク1～8では編集もできます。



設定できるMIDIノートナンバーは、C-2からG8までです。このとき、CMC-PD本体の任意のパッドを押したまま、エディター画面で対応するパッドの値を編集すると、設定されたMIDIノートナンバーの音をすぐに確認できます。

### バンク9～16のパッド

バンク9～15のパッドは割り当てられているMIDIノートナンバーを、バンク16のパッドはファンクション番号を表示します。



バンク9～15のパッド



バンク16のパッド

### ③ 鍵盤

選択したパッドに割り当てられているMIDIノートナンバーに対応する鍵盤を表示します。鍵盤をクリックしてMIDIノートナンバーを変更できます。

### ① [BANK] (バンク切替ボタン)

バンク番号をクリックして、操作の対象となるバンクを[1]～[16]から選択します。現在選択されているバンク番号が点灯します。

### ② パッド

MIDIノートナンバーを編集できるバンク1～8のパッドと、表示のみのバンク9～16のパッドに分けて説明します。

#### バンク1～8のパッド

現在割り当てられているMIDIノートナンバーを表示/編集します。編集は以下の手順で行ないます。

#### 1. 以下のいずれかの方法でパッドを選択します。

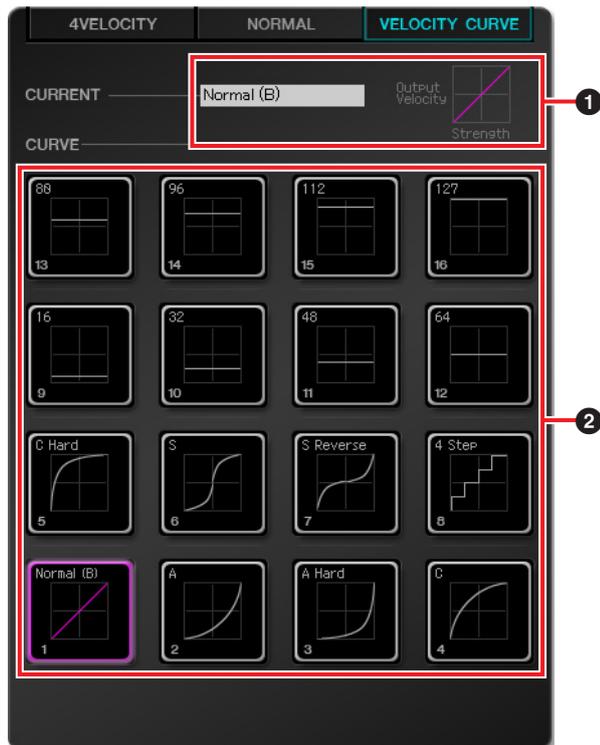
- エディター画面のパッドをクリックする
- 本体のパッドをたたく

#### 2. 以下のいずれかを使って、MIDIノートナンバーを編集します。

- マウスホイール
- キーボードカーソルキー
- 直接入力
- ▲/▼クリック
- 鍵盤クリック
- 本体のノブ

## [VELOCITY CURVE]

ノーマルモードのパッドに設定されているベロシティーカーブを確認/変更できます。



### ① [CURRENT] (カレント表示)

現在設定されているベロシティーカーブを表示します。

### ② [CURVE] (ベロシティーカーブ)

ベロシティーカーブを表示します。現在設定されているベロシティーカーブ(パッド)が、ハイライト表示されます。任意のベロシティーカーブをクリックすると、本体パッドのベロシティーカーブが一括で変更されます。

### NOTE

[VELOCITY CURVE]を選択しているときに、本体の任意のパッドをたたくと、各ベロシティーカーブの反応を音で確認できます。